

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	転倒予防の為の方法を検討してきたが、今後も更にアセスメントを見直し、転倒に関連する真の原因や、入居者様の立場に立った最適な対応方法を検討していく。	身体拘束を排除し転倒を防ぐ。	アセスメントを再度見直し、転倒の原因を把握していく。また、定期的な勉強会を開催していく。	12 ヶ月
2	26	アセスメント書式を検討していき、「出来る事」「出来そうな事」の記録と共に行動の背景にある原因を記録し、解決策の検討をしていく。	誰が見ても、入居者様の状態、介護方法が分かるプランを作成していく。	アセスメントの書式を変更し、スタッフ間で情報、対策を共有すると共に、行動の背景にある原因分析も行なっていく。	12 ヶ月
3	35	年に2回防火訓練を実施しているが、今後は更に実際の災害を想定した訓練を行なっていく。現在、防火マニュアルはあるが、災害時の対応マニュアルはないので作成をしていく。	防災、災害に関しての意識を今まで以上に高めていく。	実際の災害を想定した訓練を実施していく。また定期的な勉強会を開催する。災害時のマニュアルに関しては現在検討、作成を行なっている。(4月完成予定)	6 ヶ月
4	49	高齢の方が多くなり、外出の機会が減っているが、職員体制を整え外出の機会を増やしていく。	外出支援の機会を増やし、楽しみを持って生活を送って頂く。	同一敷地内の部署と協力をして、外出の機会を増やしていく。個別の外出に関しては今のまま継続していく。	12 ヶ月
5					ヶ月